

9月号 No352

ぼらんていあだより

「ボランティア体験隊 2017」を開催しました！

「ボランティア体験隊 2017」は、夏休み期間(7月 21 日～8月 31 日)にボランティア体験をしてみよう！という企画です。

豊田市内の高齢者施設・障がい者施設・こども園等の福祉施設及びボランティア団体の皆様が用意くださった 170 件のボランティア体験メニューに中学生を中心に約 1,300 人の市民の皆さんが体験をしました。



障がい者施設での作業の手伝い



こども園での保育の手伝い



高齢者施設でのレクリエーションなど



点訳サークルでの点訳体験

今月の花
キンモクセイ
(謙虚、気高い人)



謙虚な心を
忘れずにボラ
ンティア!

ぼらんて君



体験された方々の声

- ・初めは何をすれば良いかあまり分からなかったけど、自ら積極的に動いたら子どももたくさん話しかけてくれるようになった！
- ・(高齢者の方が)人生についてたくさん教えてくださった。
- ・障がい者の方達は素晴らしい感性や才能があることが分かった。他の障がいの方々の作った絵画や作品を見に行きたいと思う。



豊田市社会福祉協議会ボランティアセンターには、ボランティア体験隊に参加して「勉強になった」「またやりたい」との声が多く届いております。この体験を通じて、福祉に興味を持ったり、地域でボランティアを始めるきっかけにしてほしいと思います。

また、夏休みの体験隊に限らず、「ボランティアをやってみたい」という方は、いつでも募集しておりますので、ボランティアセンターまでお気軽にご連絡ください。

※ボランティア体験隊事業には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

◎問合せ 豊田市社会福祉協議会 ボランティアセンター(4ページ記載)





『災害ボランティアセンター』をご存知ですか？



最近、九州北部や秋田県などで、大雨等による甚大な被害が発生しています。

そのような中、被災地で「災害ボランティアセンター（以下「災害VC」）」が立ち上がった等をニュースで聞かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。福岡県朝倉市には、7月16日（日）に2,266名ものボランティアが集まったそうです。では、その災害VCの仕組みはご存じでしょうか？

災害VCってなんだろう？

災害が発生すると、被災者・被災地の復旧・復興を支援するため、全国からボランティアが集まります。しかし、ボランティアには「誰が・どこで・どんなことに困っているか」が分かりません。また、被災者も「どこに相談すれば『自分が困っていること』を伝えられるか」が分かりません。そんな両者の橋渡し役となる組織として「災害VC」が立ち上がります。

災害VCでは、被災者からニーズ（困りごと）を聞き取り、被災地域の状況を集約していきます。その一方で、全国から駆けつけたボランティアを受け付け、現在の被災状況やニーズをボランティアに情報提供することで、被災者とボランティアを繋いでいきます。

災害VCは、被災地におけるボランティア活動を効率よく推進していく組織であり、かつ『被災地の復興支援』と『被災者の自立支援』を目的とし、被災者に寄り添うことを求められます。

豊田市の場合

災害VCは豊田市が設置し、災害ボランティアコーディネーターと豊田市と本会が共働で運営をします。



災害は、自分の身に降り掛からないと「ひとごと」で終わってしまいがちです。しかし、豊田市においても昭和47年豪雨や平成12年東海豪雨などで大きな被害が出ています。過去の教訓を忘れずに、自宅で暮らし続けるためにはどうすればよいか考えたり、災害に備えて必要なものを準備したり、ご近所同士で助け合えるように日頃から「支え合い」のできるまちづくりを進めましょう。

◎問合せ 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 電話:31-1294 FAX:32-6011



“精神障がい”について正しく知っていますか？



2011年より厚生労働省の医療計画では、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の4大疾病に、新たに精神疾患を加えて「5大疾病」とし、こころの病気はより私達の生活に身近なものになっています。

しかしながら「精神障がいのイメージは？」と尋ねると未だに「怖い」「変わっている」「何を考えているか分からない」などマイナスのイメージを持っている方が多いようです。

『地域活動支援センター サン・クラブ』は精神障がい者の様々な生活相談に応じ、ご本人の思いを尊重しながらその人らしく生き生きとした生活が送れるよう総合的な支援を行う事業所です。

この夏、ボランティアとして地元の中学生に法人内の施設で利用者方と共にプログラム活動やエコクラフト体験に取り組んでもらいました。実際、参加者からは「皆やさしく接してくれた」「いろんな方とコミュニケーションが取れて楽しかった」という声が届いています。今後こういった活動を通じて地域の中の理解者をひとりでも多く増やしていきたいです。

サン・クラブでは毎週金曜日に「こころとからだの健康講座」を開催し、当事者の方・ご家族などを対象に広く精神障がいの理解と社会復帰支援の活動を行っています。また地域の方々には精神障がいの普及啓発の講演や研修等も随時受け付けていますのでお気軽にお問合せください。



◎問合せ 地域活動支援センター サン・クラブ 電話:0565-48-3058



社協登録ボランティアグループを紹介します！



『吉原ファーム 21』の代表・打田司さんをはじめ、メンバーの皆さんにお話を伺いました。

活動日、活動場所、活動内容について教えてください。

「吉原ファーム 21」は、40～70 代の 15 名で活動を行っております。子どもたちに農業体験を通して、食物の育つ過程を知ってもらいたいとの思いで活動しています。行事としては、さつまいも苗の植え付けや収穫、じゃがいも掘り、いちご狩り、焼き芋大会などを行い、子どもの中には、初めて土の中に植えてある野菜を見る子もいて、毎回 30～60 人くらいの子どもの参加があります。また、毎週水・土曜日はメンバーで畑作業を行い、夏場は交代でほぼ毎日、畑に水やりをする等管理を行っています。メンバー自身の健康維持にもなっており、メンバーで集まって話をするのも楽しい時間になっています。



活動を始めるきっかけについて教えてください。

平成 21 年 4 月に活動が始まり、「吉原ファーム 21」の“21”は、そこからきています。中高年者と子どもたちのふれあひも目的の一つで、地域の活性化のためにもと思い、活動が始まりました。



どんな時にやりがいを感じますか？

子どもたちの喜んだ顔を見たときに、とてもうれしく感じます。また、行事だけでなく、日頃の畑仕事に子どもたちが来てくれたらとってもうれしいです！！

どんなメンバーを募集していますか？

メンバー大募集中です！ですが、若園地区住民の方と限定しておりますが、ご興味がある方はぜひ、ご連絡をお待ちしております♪

◎問合せ 豊田市社会福祉協議会 ボランティアセンター(4ページに記載)

クイズコーナー

【問題】

秋の高級食材の松茸

「マツタケ」の生える松は？

- ① 黒松 ② 赤松 ③ 五葉松



★ヒント★

雌松（めまつ）と呼ばれることもあります。

☆クイズの正解は

「ぼらんていあだより 11 月号」にて発表します。

はがきにクイズの答えと必要事項を **全て** ご記入のうえ、ご応募ください。
クイズの正解者の中から抽選で 3 名の方に「500 円分の図書カード」をプレゼントします。

☎ 471-0877

豊田市錦町 1-1-1

豊田市社会福祉協議会
ボランティアセンター
「クイズコーナー」係

- ①クイズの答え
- ②氏名
- ③郵便番号・住所
- ④電話番号
- ⑤年齢
- ⑥職業
- ⑦「ぼらんていあだより」の入手方法
- ⑧「ぼらんていあだより」で取り上げてほしい内容、ご意見・ご感想など

【7月号の正解】 ①徳川家康

慶長 18 年（1613 年）駿府城で、イギリス人ジョン・セリーに同行した明（中国）人が作った花火を徳川家康が観賞したのが最初というのが定説です。他にも、三河地方の神社の祭礼での手筒花火が最初という説もあります。

「ぼらんていあだより」はホームページでも閲覧することができます！

ご応募ありがとうございました。当選者につきましては、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

9月末日締切（当日消印有効）

ボランティア作業・わくわくステージのお知らせ

豊田市福祉センター3階交流コーナーと1階ロビーでは、様々な催しを行っています。
どなたでも予約なしで参加することができます。お気軽にお越しください！



ボランティア作業

豊田市福祉センター3階交流コーナーにて行っています！

使用済み切手整理作業

(使用済み切手の周りを切るボランティア作業)

毎月第1木曜日 午前10時～正午

★9月7日(木)

★10月5日(木)

★11月2日(木)



ぼらんていあだより発送作業

(たよりを折って封筒に入れるボランティア作業)

毎月下旬(曜日不定) 午前10時～正午

★9月22日(金)

★10月19日(木)

★11月24日(金)



わくわくステージ

豊田市福祉センター1階ロビー(玄関入り口)にて行っています！

(社協登録ボランティアグループおよび個人による楽器演奏や歌、踊り等の芸能発表)

毎月第1木曜日 正午～午後0時30分

★9月7日(木)「高橋一敏(個人ボランティア)」さんによる『三味線演奏』

★10月5日(木)「NPOとよた羽ばたけ天翔」さんによる『ギター・三味線演奏、歌』

★11月2日(木)「琴生流大正琴アンサンブル向日葵」さんによる『大正琴演奏』



豊田市ボランティア連絡協議会からののお知らせ

第3回 交流サロン

■と き 10月28日(土) 午前10時～正午

■ところ 豊田市福祉センター 交流コーナー
(豊田市錦町1-1-1)

■内 容 活動紹介、交流会

■参加費 100円(お茶菓子代)

■定 員 50人

■申込み 9月1日(金)から下記連絡先へ

◎問合せ・申込み 豊田市社会福祉協議会 ボランティアセンター(下記参照)

第4回 交流サロン「施設見学会」

■と き 11月10日(金)

午前8時30分出発～午後1時30分帰着
(集合:午前8時30分に豊田市福祉センター玄関前)

■ところ ゴジカラ村(長久手市)

■参加費 300円(見学料)

■定 員 15人(先着)

■申込み 10月3日(火)から下記連絡先へ

□■ ぼらんていあだよりに関するお問合せ ■□

社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 ボランティアセンター(豊田市福祉センター1階)

〒471-0877 豊田市錦町1丁目1番地1 ※日・月曜日、祝日はお休みです。

電 話 (0565)31-1294 FAX (0565)32-6011 メール vc@toyota-shakyo.jp

ホームページ <http://toyota-shakyo.jp/volunteer/>

「ぼらんていあだより」の発行には共同募金の配分金が使われています。

